

大学院生 各位

東アジア研究所 所長・高橋伸夫

韓国国際交流財団(Korea foundation)  
大学院生スカラシップによる研究助成について

慶應義塾大学と韓国国際交流財団 (Korea Foundation) との協定に基づき、以下のとおり韓国研究に従事する奨学生（修士、博士課程の正規学生。韓国籍者は海外永住権を所持している人に限り支援可能。）を募集いたします。該当する学生は積極的に応募して下さい。応募した学生は、その旨必ず東アジア研究所までご連絡ください。kieas@info.keio.ac.jp

2015年度 <募集要項>

◆ 申請資格

人文・社会科学、文化・芸術分野で韓国関連内容をテーマとして研究を行っている修士・博士課程生

- 現在日本地域の大学に登録されている者(2015年度春学期の入学者も申請可能)

- 大韓民国国籍者の場合、外国市民権者または日本永住権の所持者

- 除外対象：自然科学、医学、工学、MBA、法学、通訳専攻者

◆ 選抜人数：25人程度 ◆ 支援期間：1年（2015年4月1日-2016年3月31日） ◆ 支援額- 修士課程生：\$6,000/年 -博士課程生:\$10,000/年

◆ 事業日程

- 申請期間：2015年6月1日 -6月19日 24:00 (韓国時間基準)

- 結果発表：2015年7月末 (結果発表は事前予告なしで変更される可能性があります)

◆ 提出書類

- オンライン申請書

- 添付書類 (オンライン申し込みの際、ファイルを登録してください)

① 学業計画書 (3ページ程度)

・ この広告文に添付された財団所定様式の学業計画書を作成し、オンライン申請書にファイルをアップロードしてください。

・ 2年目または3年目の申請者は奨学金受給期間中の進行内容と論文の要約を必ず提出してください。

② 成績証明書

・ 修士課程生：学部課程の成績証明書

※ 2年目の申請者は前年度フェローシップ期間中の成績証明書を提出してください。

・ 博士課程生：学部課程及び修士課程の成績証明書

※ 2年目、3年目の申請者は博士課程の成績証明書を提出してください。

③ 推薦書3部

・ 指導教授からの推薦書 1部

・ 関連専攻教授からの推薦書 1部

・ 韓国語能力評価書 1部

※ 申請者がオンラインの申請書を提出すると、KF オンライン申請システムで自動的に申請者が指定した推薦員に推薦書の作成を要求する E-mail が発送されます。申請者は申請書を提出する前に推薦人に推薦書を要請してください。

※ 大学院生奨学制度の延長申請者は指導教授からの推薦書 1部だけを提出します。

KF オンライン申請システム(apply.kf.or.kr)に3人の推薦人を記入する欄がありますので、指導教授のメールアドレス他二つの欄には "fellow@kf.or.kr" を記入してください。

◆ 申請方法

この広告文下段の「申し込む」ボタンをクリックしてオンライン申請書を作成してください。

-「申し込む」ボタンは申請期間(2015年6月1日-6月19日)中だけ活性化されます。

-申請書及び全ての添付書類は韓国語または英語で作成してください。

◆ 申請にあたる留意事項

- 修士課程生は最大2年、博士課程生は最大4年間の支援を受けることができます。

- 受給者は学期の間、必ず所属の大学が位置している国に滞在しなければなりません。

- 学業及び研究を行う際に韓国語の資料を活用できる程度の韓国語の駆使能力者を優待します。

- 財団のほかのフェローシップまたは他の機関からの奨学金を同時に受給することはできません。

- フェローシップの期間を次の年度に延期することはできません。

◆ 受給者の義務事項

1. 報告書の提出

フェローシップの受給者はフェローシップ終了後1ヶ月以内に個別学業成果に関する報告書を財団が定めた書式に作成して提出します。

◆問い合わせ先 -担当：崔玄洙(チェ・ヒョンソ)韓国国際交流財団 東京事務所長 -連絡先：hyunsoo@kf.or.kr / +81-3-6400-0640

-システム関連お問い合わせ：helpdesk@kf.or.kr